

平成 29 年度いわて健康データウェアハウス（特定健診・特定保健指導データ）単純集計結果の概要

I 調査の概要

1 協力医療保険者数

平成 29 年度、本事業に協力いただいた医療保険者は、市町村国民健康保険 33、健康保険組合 2、共済組合 3、全国健康保険協会岩手支部の 39 医療保険者であった。

2 対象者

上述した協力医療保険者より、厚生労働省通知「保険者が社会保険診療報酬支払基金に提出する平成 25 年度以降に実施した特定健康診査等に基づく特定保健指導の実施状況に関する結果について」（平成 25 年 3 月 29 日付け厚生労働省保険局長）に定める事項について、データ入力されている 40 歳から 74 歳までの情報を対象とし、岩手県全体及び地域別集計の際は、データの郵便番号が岩手県以外のものについては除いた。

なお、データは個人が特定される情報（氏名、生年月日、住所地）を除き、匿名化した。（年度中に 75 歳となる健診対象者の情報は除いた。）

医療保険者別及び地域別の状況は、以下（1）（2）のとおりである。

（1）医療保険者別の状況

保険者種別	男（人）	女（人）	計（人）
市町村国民健康保険	41,233	54,911	96,144
健康保険組合	652	761	1,413
共済組合	14,103	11,605	25,708
全国健康保険協会	59,411	47,456	106,867
合計	115,399	114,733	230,132

※法定報告数とは異なる

（2）二次保健医療圏別の状況

地域別	男（人）	女（人）	計（人）
盛岡	37,722	38,127	75,849
岩手中部	18,400	18,649	37,049
胆江	11,233	11,298	22,531
両磐	10,035	9,547	19,582
気仙	6,888	6,162	13,050
釜石	3,777	3,509	7,286
宮古	7,791	7,708	15,499
久慈	5,198	5,460	10,658
二戸	5,951	6,167	12,118
岩手県（その他）	8,404	8,106	16,510
合計	115,399	114,733	230,132

3 データの該当年度

平成 29 年度

4 実施方法

各医療保険者は、特定健診・特定保健指導実施に関わる提出データを匿名化したうえでエクセルファイルに入力した後、環境保健研究センターに提出。

環境保健研究センターは、「いわて健康データウェアハウス」により、全県、地域別、医療保険者別のデータ集計を行った。

5 調査内容

別紙「保険者から社会保険診療報酬支払基金への実績報告のためのファイル仕様」に基づく項目

6 集計項目

- (1) 全項目の性別年齢階級別単純集計
- (2) 主な項目の性別年齢階級別経年変化（平成 23 年度から平成 29 年度までの 7 年間）
- (3) 主な項目の標準化該当比（国保別、市町村別）

性別年齢構成が市町村や保険者により異なることを補正する目的で、標準化死亡比（SMR）の計算方法に準じて、「標準化該当比」（SMR）を算出した。

岩手県を 100 として、標準化該当比が 100 より大きい場合は出現率が岩手県より高く、100 より小さい場合は出現率が岩手県より低いことを示す。

受診者が少ない場合、その偶然的要素によって変動するため、標準化該当比の 95% 信頼区間についても算出した。

今回は次の 4 段階に区分した。

「SMR<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・有意に低い
「SMR<100」かつ「信頼区間の上限≥100」の時・・・低いが有意ではない
「SMR>100」かつ「信頼区間の下限≤100」の時・・・高いが有意ではない
「SMR>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・有意に高い

※「有意に高い」とは、当該市町村（又は当該保険者）の標準化該当比が岩手県（100）に比べて高いということが 95%以上の確率で正しいことを示す。

- (4) 主な項目の医療保険者種類別集計

7 その他

- (1) 図表の数値は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても 100%にならない場合がある。
- (2) 比率（%）は、その設問の実回答者数を基数 n として算出した。
- (3) 対象者数の「岩手県（その他）」については、岩手県内に居住してはいるが、医療圏別に振り分けできないものについて該当させている。
- (4) H b A 1 c の表記は、NGSP 値である。

II 主な項目の集計結果の概要

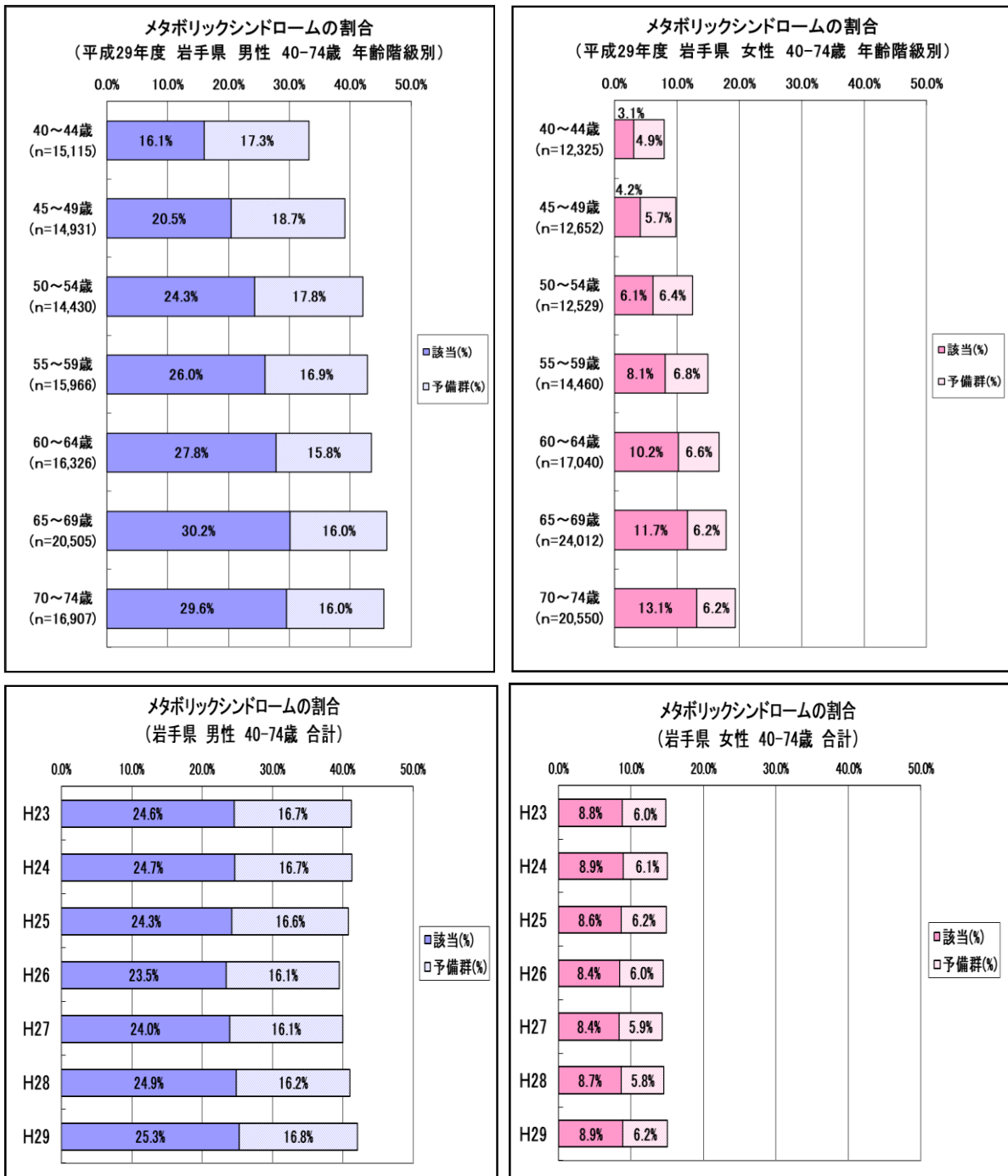
1 メタボリックシンドロームの状況

メタボリックシンドロームの状況について、「該当」、「予備群」に分類した。

40歳から74歳の合計を男女別にみると、男性は「該当」が25.3%、「予備群」が16.8%、女性は「該当」が8.9%、「予備群」が6.2%であった。

「該当」及び「予備群」を年齢階級別でみると、男性は50歳以上で40%以上、女性は年齢が上がるごとに割合が増えていた。

また、男性は平成26年度に若干減少したが、それ以降微増し、女性は平成23年度以降、大きな変化は見られない。



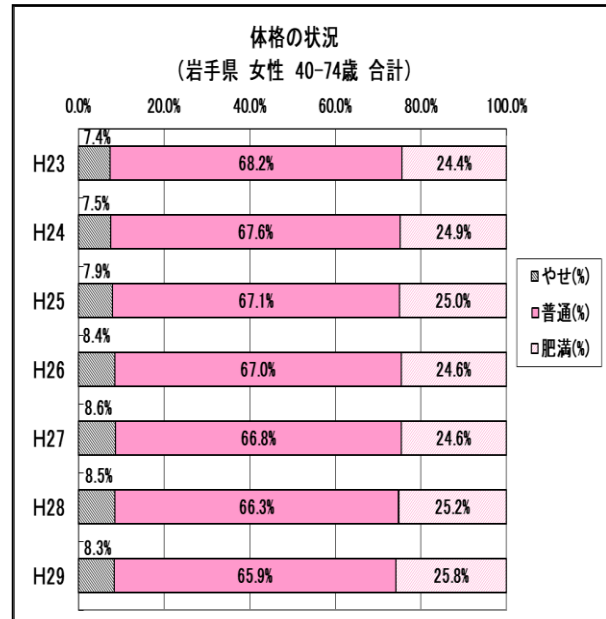
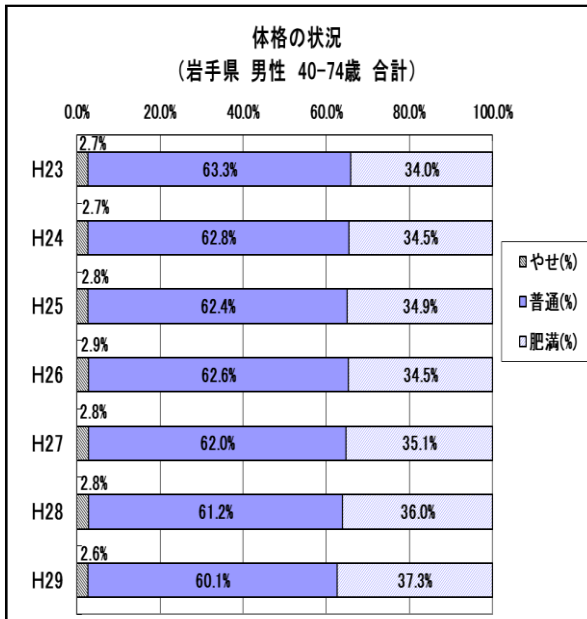
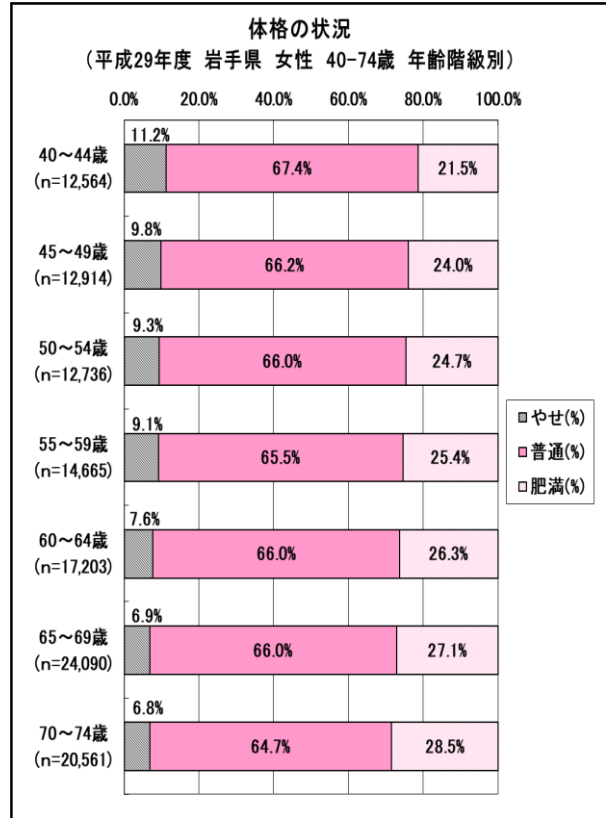
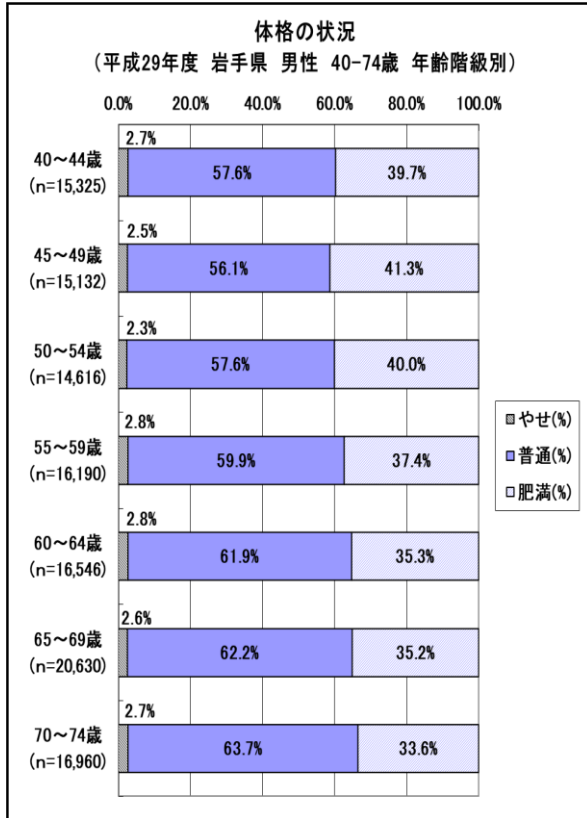
2 体格の状況

BMI 判定について、「やせ」(BMI 18.5 未満)、「普通」(BMI 18.5 以上 25.0 未満)、「肥満」(BMI 25.0 以上)に分類した。

「肥満」の割合について、40 歳から 74 歳の合計を男女別にみると、男性は 37.3%、女性は 25.8%であった。

年齢階級別でみると、男性は 45~49 歳が最も高く、女性は 70~74 歳が最も高かった。

また、男性は平成 27 年度以降微増し、女性は平成 23 年度以降、大きな変化は見られない。



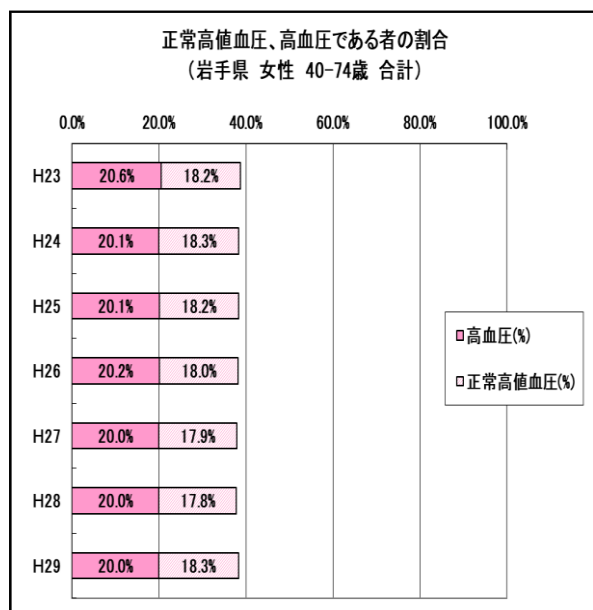
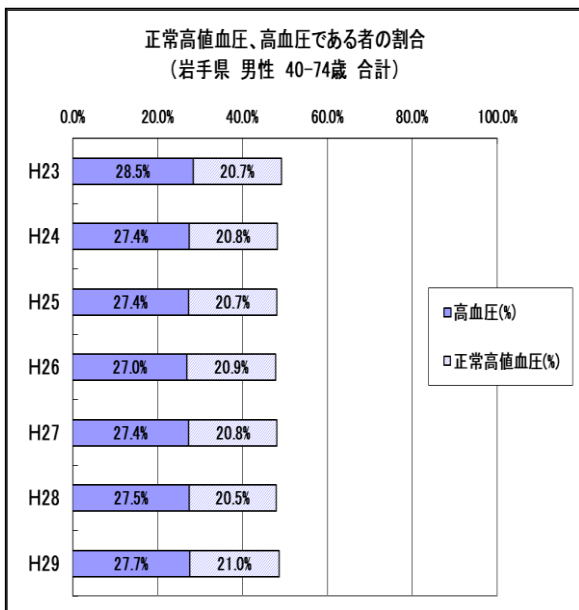
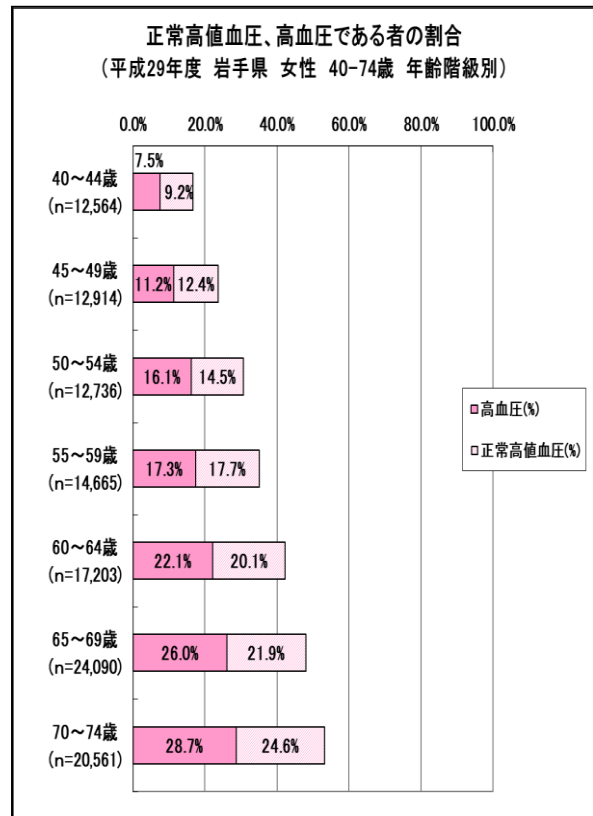
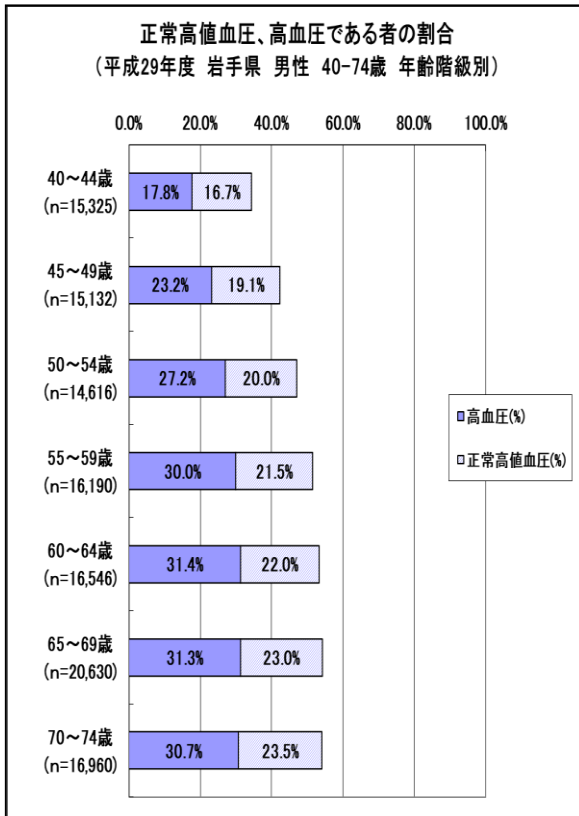
3 血圧の状況

血圧測定値について、「高血圧（収縮期血圧 140mmHg 以上、拡張期血圧 90mmHg 以上）」と「正常高値血圧（収縮期血圧 130mmHg 以上 140mmHg 未満、拡張期血圧 85mmHg 以上 90mmHg 未満）」に分類した。

40 歳から 74 歳の合計を男女別にみると、男性は「高血圧」が 27.7%、「正常高値血圧」が 21.0%、女性は「高血圧」が 20.0%、「正常高値血圧」が 18.3%であった。

年齢階級別でみると、男女ともに年齢が上がるごとに割合が増えていた。

また、男女とも平成 23 年度以降、大きな変化は見られない。



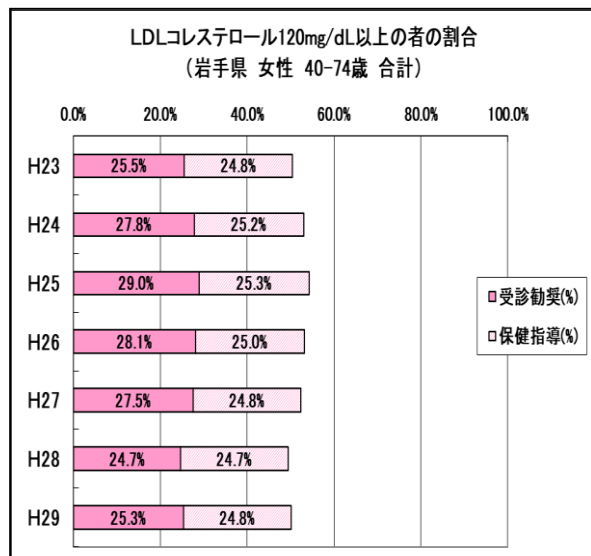
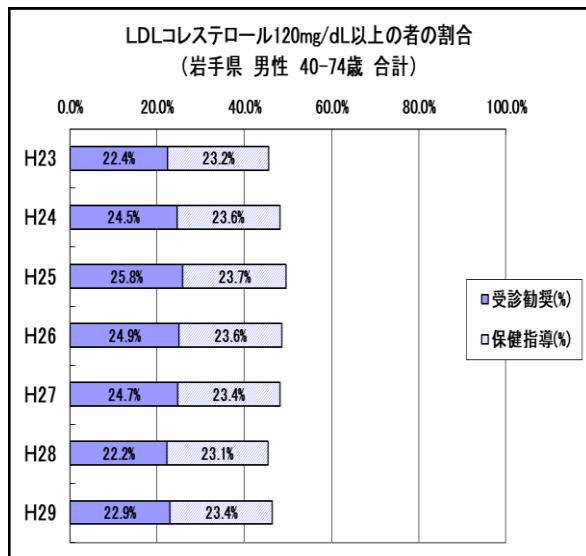
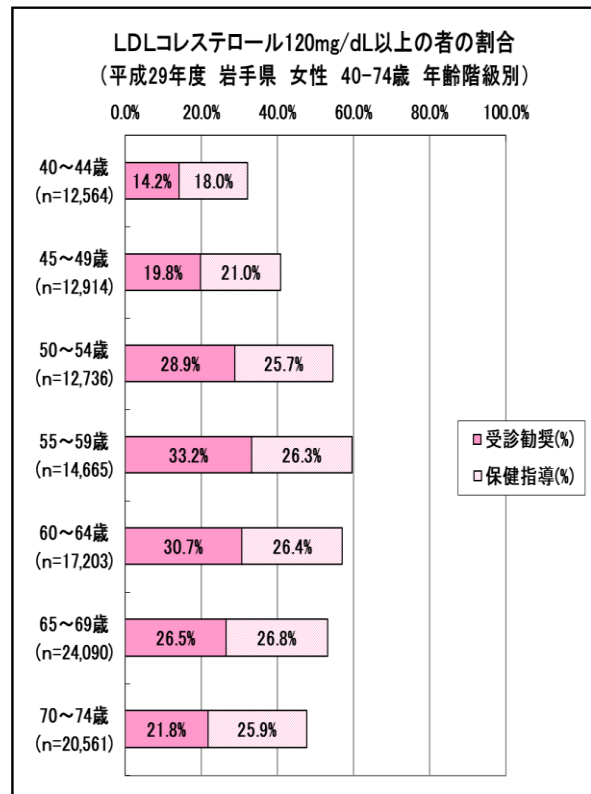
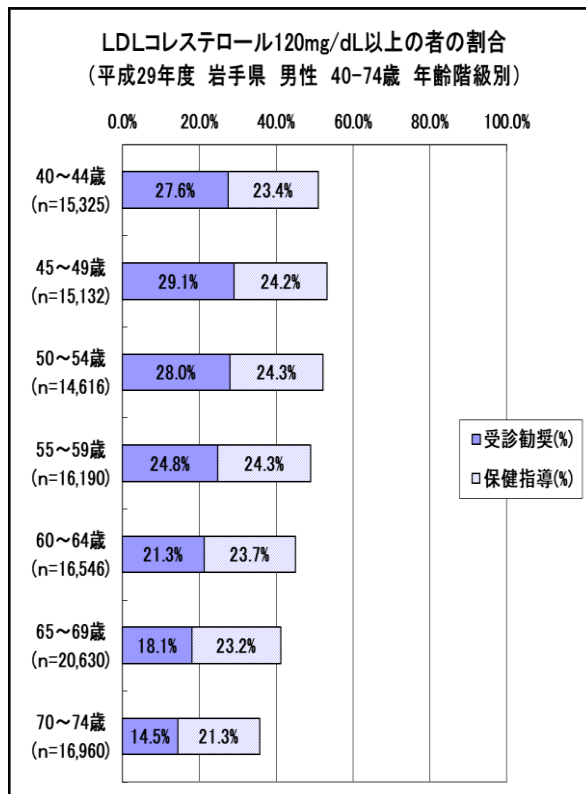
4 LDLコレステロールの状況

LDLコレステロールの検査値について、「受診勧奨判定値（140mg/dL以上）」と「保健指導対象値（120mg/dL以上140mg/dL未満）」に分類した。

40歳から74歳の合計を男女別にみると、男性は「受診勧奨判定値」が22.9%、「保健指導対象値」が23.4%、女性は「受診勧奨判定値」が25.3%、「保健指導対象値」が24.8%であった。

年齢階級別でみると、男性は45歳～49歳以上では年齢が上がるごとに割合が減り、女性は55～59歳までは年齢が上がるごとに割合が増え、60～64歳以上は減っていた。

また、男女とも平成23年度から平成25年度までは微増していたが、平成26年度以降は若干減少している。



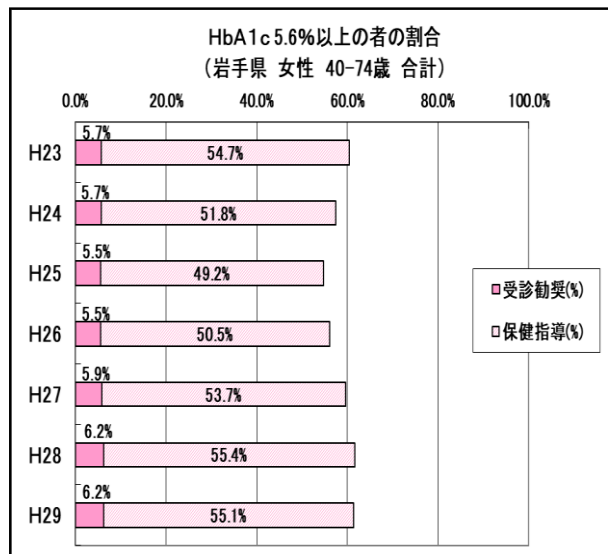
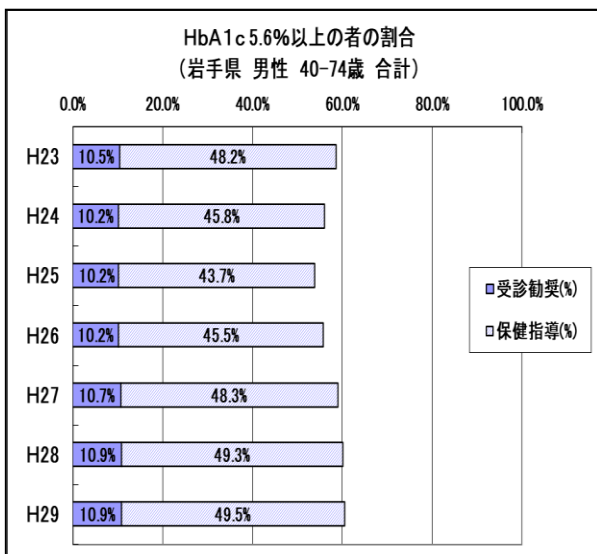
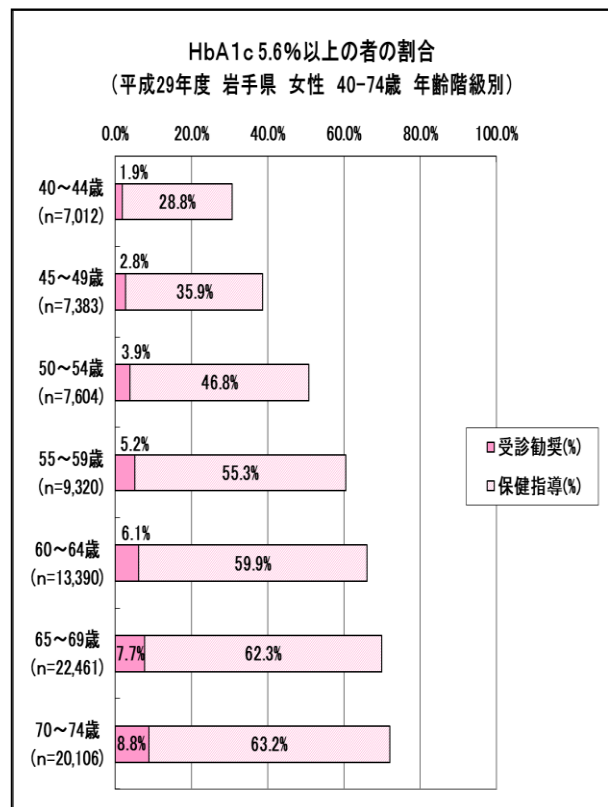
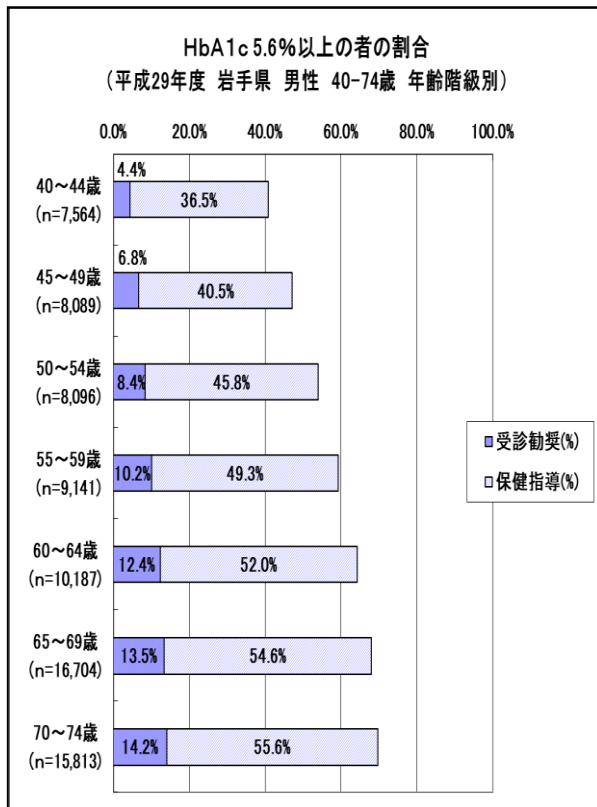
5 HbA1cの状況

HbA1cの検査値について、「受診勧奨判定値（6.5%以上）」と「保健指導対象値（5.6%以上6.5%未満）」に分類した。

40歳から74歳の合計を男女別にみると、男性は「受診勧奨判定値」が10.9%、「保健指導対象値」が49.5%、女性は「受診勧奨判定値」が6.2%、「保健指導対象値」が55.1%であった。

年齢階級別でみると、男女ともに年齢が上がるごとに割合が増え、50～54歳以上では50%を超えていた。

また、男女とも平成23年度から平成25年度までは減少し、それ以降微増していたが、平成29年度は前年度とほぼ横ばいであった。



6 喫煙状況

標準的な質問票8「現在、たばこを習慣的に吸っている」で「はい」と答えた者の割合について、40歳から74歳の合計を男女別にみると、男性は37.0%、女性は8.1%であった。

年齢階級別でみると、男女ともに年齢が上がるごとに割合が減っていた。

また、男性は平成26年度からほぼ横ばい、女性は平成23年度以降微増していたが、平成29年度は前年度と横ばいであった。

※「現在、たばこを習慣的に吸っている」とは、「吸い始めてから合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っていて、最近1ヶ月間も吸っている」ことを示す。

